FOR
NEXT GENERATION NETWORKS

第82期中間報告書

平成19年4月1日から平成19年9月30日まで

Anritsu
アンリツ株式会社

株主の皆様には、ますますご清栄のこととお喜び申し上げます。

日頃は格別のご支援を賜り厚く御礼申し上げます。ここに第82期上半期（平成19年4月1日から平成19年9月30日まで）の営業の概況並びに決算の状況をご報告申し上げます。

■ 全般的概況

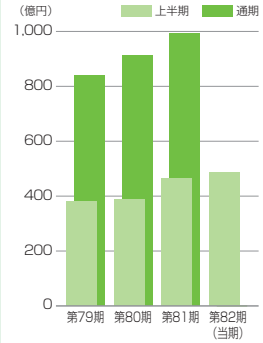
情報通信ネットワークの分野においては、固定通信、移動通信の両分野におけるブロードバンド化や、それらを利用した多種多様なサービスが進展しており、さらには各種サービスをひとつのネットワークで提供する次世代通信ネットワーク（NGN：Next Generation Networks）の構築に向けた様々な動きが加速しています。この分野は市場での競争激化により、事業再編や合従連衡の動きが一部にある一方、電気通信事業者や通信機器メーカーは差別化をはかるために総じて設備投資を継続しており、当社グループの主要な事業領域は、全体としてビジネスチャンスが拡大しています。

このような状況の中、当社グループは平成21年3月期を最終年度とする中期経営計画「Anritsu Global LP 2008」の達成に向けて積極的に取り組みました。

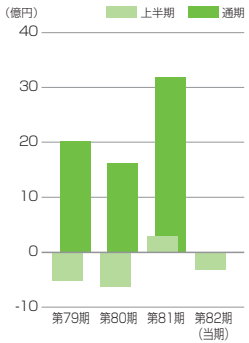
1）販売体制・顧客サポート体制の強化

世界各地域の販売体制・顧客サポート体制を強化するため、中南米地域を統括する販社をメキシコにおいて始動させました。

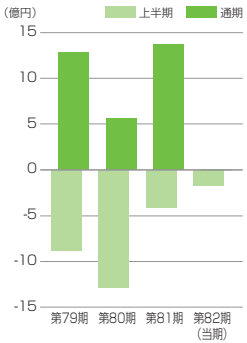
■ 売上高



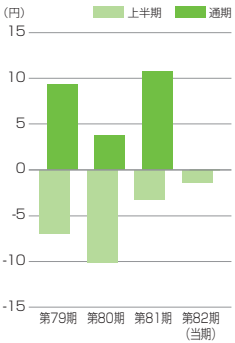
■ 経常利益



■ 当期純利益



■ 1株当たり当期純利益



2）新製品の提供

第3.5世代及び次世代の移動通信サービス向けに機能強化したワイヤレス通信用計測器や汎用の信号解析用計測器などの新しいソリューションを市場に投入し、製品ラインの拡充にも努めました。

3）サービス・アシュアランス分野の受注拡大

当社グループのNGN戦略の一翼を担うサービス・アシュアランス分野は、引き続き、欧州を中心とする有力通信事業者をターゲットとした営業活動（Tier1戦略）などにより、収益の改善に積極的に取り組みました。

当上半期は、主力の計測器事業が海外を中心に堅調に推移し受注高、売上高とも前年同期を上回ったほか、産業機械事業及び情報通信事業も前年同期の売上高を上回りました。営業利益は、情報通信事業、産業機械事業では収益が改善したものの、計測器事業では収益性の改善を見込む新製品群の売上寄与に至る途中段階ということもあり、全体としては前年同期を下回りました。この結果、経常利益は赤字となりましたが、米国子会社の繰延税金資産の回収可能性の見直し等により、中間純利益は税金等調整前中間純利益よりも改善しています。

以上の結果、株主の皆様への中間配当につきましては1株につき3円50銭とさせていただきました。

■ 今後の方針

当社グループは、顧客のニーズにタイムリーに応えるソリューションを効率よく提供し、企業価値の向上に取り組んでまいります。

計測器事業：従来から保有する第3世代携帯電話用計測器など競争力の高い製品群に加え、次世代の無線通信や超高速通信分野のソリューションとして期待される新製品の受注・売上を拡大させてまいります。また、サービス・アシュアランス分野では、これまで堅調に受注を獲得してきた欧州・中近東諸国に加え米州・アジアでも積極的に事業を展開することにより更なる受注拡大を目指すとともに、開発・顧客サポート管理を徹底させることにより確実な収益改善に向け努力してまいります。

情報通信事業：災害発生時に緊急情報伝達や安否確認を行う双方向型減災コミュニケーションシステムの開発投資を進める一方、システムインテグレータとの関係強化などにより民需市場を積極的に開拓し、経営基盤の強化に取り組みます。

産業機械事業：製品の高付加価値化、差別化戦略を進めるとともに、需要が拡大する海外市場の積極的展開により、事業の拡大を目指します。

株主の皆様におかれましては、今後ともなお一層のご支援を賜りますようお願い申し上げます。

平成19年12月

社　長　戸田博道

区　　分	第79期	第80期	第81期	第81期 上半期	第82期 上半期
売上高（百万円）	84,039	91,262	99,445	46,493	48,812
営業利益（百万円）	4,862	4,549	6,358	1,873	1,276
経常利益（百万円）	2,023	1,628	3,193	306	△ 316
中間（当期）純利益（百万円）	1,279	562	1,375	△ 410	△ 174
1株当たり中間(当期)純利益（円）	9.31	3.76	10.79	△ 3.22	△ 1.37
総資産（百万円）	142,111	152,389	140,395	143,005	143,199
純資産（百万円）	60,308	60,970	61,619	60,246	60,423
1株当たり純資産額（円）	472.16	477.51	483.25	471.24	473.68
研究開発費（百万円）	10,514	12,509	14,072	6,658	7,128
設備投資額（百万円）	1,869	2,698	2,319	1,130	1,184
減価償却費（百万円）	3,400	3,453	3,599	1,652	1,895

■計測器事業

携帯端末製造用計測器

FTTH向け計測器

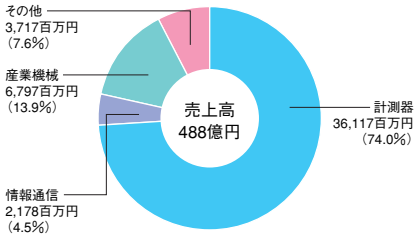
ネットワーク／サービス
パフォーマンスアナライザ

この事業は、通信事業者・関連機器メーカー・保守工事業者への様々な通信用測定器・測定システムの提供及びサービス・アシュアランス事業を行っています。

当上半期は、第3世代移動通信サービス（3G）及び3.5世代（3.5G）向け計測器は、研究開発用の需要が国内及び欧州で一巡するものの、携帯端末製造用は国内及びアジアを中心に、そして基地局建設保守用は全世界で堅調に推移しました。また、光加入者系フィールド用テスタは、米国・アジアを中心に堅調に推移しました。一方、サービス・アシュアランス分野も、収益性改善の基盤固めに注力し、有力通信事業者からの受注獲得に成果がみられました。この結果、売上高は361億17百万円（前年同期比4.9%増）となりましたが、当上半期は、前年同期の北米における大量受注案件による量産効果がなかったこと、また、新製品群の立ち上がり期であったこともあり、営業利益は10億19百万円（前年同期は15億56百万円）にとどまりました。

■部門別売上高（連結）

区分	第81期上半期		第82期上半期		前年同期比
	金額	構成比	金額	構成比	増減率
	百万円	%	百万円	%	%
売上高	46,493	100.0	48,812	100.0	5.0
計測器	34,440	74.1	36,117	74.0	4.9
情報通信	2,101	4.5	2,178	4.5	3.7
産業機械	6,187	13.3	6,797	13.9	9.9
その他	3,764	8.1	3,717	7.6	△ 1.2



■情報通信事業

帯域制御装置

この事業は、官公庁や地方自治体へ納入する公共情報システム、通信事業者等向けの映像配信ソリューションや帯域制御装置などを提供しています。

当上半期は、公共情報システムが順調に推移しましたが、当事業の売上高は官公庁向けなどが下半期に集中する傾向にあり、売上高は21億78百万円（前年同期比3.7%増）となりました。営業利益は、利益体質の定着などにより2億82百万円の損失（前年同期は4億72百万円の損失）と前年同期と比べて改善しました。

■産業機械事業

X線異物検出機

この事業は、食品・薬品・化粧品産業向けに、高精度かつ高速の各種自動重量選別機、自動電子計量機、異物検出機などを提供しています。

当上半期は、食品の安全・安心意識の高まりにより食品の検査設備への需要が急増し、X線異物検出機を中心に好調に推移しました。売上高は67億97百万円（前年同期比9.9%増）、営業利益は4億87百万円（前年同期は3億24百万円）となりました。

■その他の事業

印刷はんだ検査機

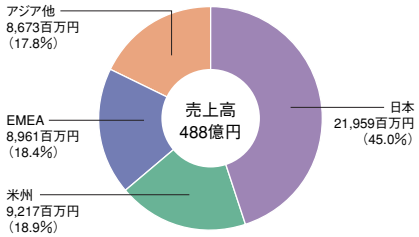
この事業は、デバイス事業、精密計測事業、環境関連事業及び物流、厚生サービス、不動産賃貸及びその他の事業からなっております。

当上半期は、光通信用デバイスの需要が、動画配信市場向けが一服する一方、メトロネットワーク向けの低価格の在来品が伸長したことや、液晶製造装置向けのセンサーの不振などにより、売上高は37億17百万円（前年同期比1.2%減）、営業利益は前年同期比6億91百万円減の8億32百万円となりました。

■地域別売上高（連結）

区分		第81期上半期 金額	第81期上半期 構成比	第82期上半期 金額	第82期上半期 構成比	前年同期比 増減率
		百万円	%	百万円	%	%
売上高		46,493	100.0	48,812	100.0	5.0
日本		20,202	43.5	21,959	45.0	8.7
海外		26,290	56.5	26,852	55.0	2.1
	米州	9,361	20.1	9,217	18.9	△1.5
	EMEA	8,602	18.5	8,961	18.4	4.2
	アジア他	8,326	17.9	8,673	17.8	4.2

EMEA：欧州、中近東、アフリカ地域



中国進出20周年

アンリツが北京に代表事務所を開設してから、今年で20周年を迎えました。現在は、香港に販売会社の本社を置き、北京や上海、広州など9ヶ所に事務所を構え、130名を超えるスタッフが計測器を中心にビジネスを展開しています。

世界の工場とも言われる中国では、携帯電話端末の開発部門や製造ラインで使用される計測器が好調です。また、光・デジタル通信網の建設・保守用計測器や、携帯電話基地局の保守用計測器でも高いシェアを獲得しています。

8月には、20周年の節目にあたって、多くのお客様を招待した記念式典を北京で開催しましたが、中国の情報通信産業関連の政府機関の要人の方々にもご出席いただきました。アンリツが、中国の通信産業の発展に貢献していることが高く評価されています。また、会場では、第3世代携帯電話で中国が取り組んでいるTD-SCDMA方式に対する計測ソリューションを展示し、ご来場いただいた方々の関心を集めました。

新製品のご紹介

シグナルクオリティアナライザ　MP1800A

次世代ネットワークを支える超高速伝送用デバイス等を開発・製造するときに、入力側と出力側のテスト信号の差（誤り率）を多面的に測定して、その性能や信頼性を評価する計測器です。

ネットワークマスタ MT9090A

各家庭に引かれる光ファイバーの障害発生箇所を簡単に探索できる保守用計測器です。
持ち運びが容易な小型軽量化や、スタートボタンを押すだけの簡単操作を実現しました。

シグナルアナライザ MS2690A

近年、無線を基盤としたアプリケーションが家電や自動車にも広がっています。汎用性と拡張性に優れる本機は、次世代携帯電話はもとより、その他の研究開発にも最適な、業界最高水準の信号解析器です。

個人株主・投資家の皆様との対話

アンリツは、当社グループの企業活動をご理解いただくため、積極的な情報開示を行うとともに、個人株主・投資家の皆様との対話などのコミュニケーション活動を行っています。皆様から頂いた、当社の経営に対するご意見や株価水準に対するご意見、IR（投資家向け広報）活動についてのアドバイスは、これを真摯に受け止め、今後とも株主の皆様のご期待に沿えるよう一層努力してまいります。

株主アンケートの実施

6月に発送した第81期報告書にて実施いたしましたアンケートにご協力いただき、厚く御礼申し上げます。

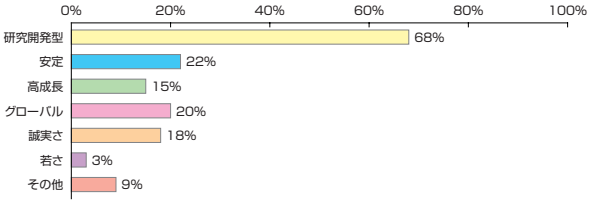
今回は381名の方からご回答を頂きました。

（回答率2.3%）

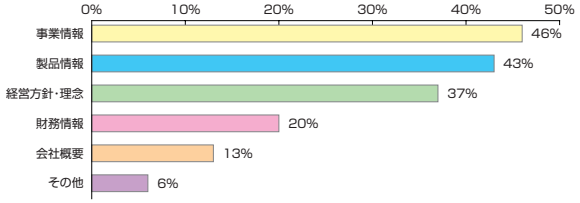
頂いたご意見は、当社の経営陣にも報告し、よりよいIR活動の参考にさせていただきます。

なお、今回もWEBによるアンケートを実施いたします。詳細につきましては、裏表紙をご覧ください。

アンリツのイメージ



もっと知りたい情報



日経IRフェアへの参加

8月31日、9月1日に東京ビッグサイトにて開催された個人投資家向けイベント「日経IRフェア2007　STOCK WORLD」に参加しました。

昨年に引き続き、アンリツグループの事業内容や業績について、ブースにてパネルを展示するとともに、個人投資家の皆様とIR担当者が直接対話をする機会を設けました。

また、今回から当社役員による会社説明会も実施し、多くの皆様にご参加いただきました。ありがとうございました。

中間連結貸借対照表

（第81期　　：平成19年3月31日現在
第82期上半期：平成19年9月30日現在）

（単位：百万円）

科　目	第81期	第82期上半期
資産の部	**140,395**	**143,199**
流動資産	**85,391**	**88,895**
現金及び預金	18,947	14,414
受取手形及び売掛金	28,113	27,283
有価証券	998	9,997
棚卸資産	26,599	26,292
繰延税金資産	9,324	9,438
その他	1,895	1,965
貸倒引当金	△ 488	△ 497
固定資産	**55,003**	**54,303**
有形固定資産	**23,459**	**23,036**
建物及び構築物	14,014	13,741
機械装置及び運搬具	2,389	2,286
工具器具備品	2,463	2,436
土地	4,558	4,534
建設仮勘定	34	37
無形固定資産	**18,308**	**17,564**
のれん	14,651	14,111
その他	3,656	3,452
投資その他の資産	**13,235**	**13,703**
投資有価証券	2,285	2,088
繰延税金資産	1,703	1,646
長期前払費用	7,490	7,552
その他	1,786	2,444
貸倒引当金	△ 29	△ 28
合　計	**140,395**	**143,199**

科　目	第81期	第82期上半期
負債の部	**78,776**	**82,775**
流動負債	**51,086**	**44,129**
支払手形及び買掛金	7,476	6,846
① 一年内償還社債	15,000	15,000
② 短期借入金	13,582	8,090
未払法人税等	1,274	717
役員賞与引当金	66	–
その他	13,685	13,474
固定負債	**27,690**	**38,646**
③ 社債	–	10,000
④ 新株予約権付社債	15,000	15,000
長期借入金	9,451	9,955
退職給付引当金	1,741	1,796
役員退職慰労引当金	80	29
賞与引当金	48	43
繰延税金負債	754	775
その他	613	1,045
純資産の部	**61,619**	**60,423**
株主資本	**63,341**	**62,715**
資本金	14,049	14,049
資本剰余金	22,999	22,999
利益剰余金	27,116	26,495
自己株式	△ 824	△ 830
評価・換算差額等	**△ 1,736**	**△ 2,335**
その他有価証券評価差額金	705	574
繰延ヘッジ損益	△ 1	–
為替換算調整勘定	△ 2,441	△ 2,910
新株予約権	**13**	**43**
合　計	**140,395**	**143,199**

（注）記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

中間連結貸借対照表のポイント

■ 棚卸資産

受注状況が堅調に推移するなか、棚卸資産は前期末と同水準にとどまりました。今後も精力的に圧縮に努めていきます。

■ 有利子負債

第３回無担保社債の償還（150億円）に備えて、平成19年9月26日に第4回無担保社債（100億円）を発行しました。この結果、当中間期末の有利子負債残高は580億円（前期末は530億円）となりました。

① 第3回無担保社債
満期 平成20年1月29日
利率　年1.85%
償還までの期間が1年未満となったため、流動負債となります。

② 短期借入金
平成19年4月にシンジケートローン70億円を返済しました。

③ 第4回無担保社債
満期 平成24年9月26日
利率　年1.87%

④ 2010年満期円貨建転換社債型新株予約権付社債
満期 平成22年9月21日
利率　なし
転換価額　1,070円

中間連結損益計算書

（第81期上半期：平成18年4月1日から平成18年9月30日まで
第82期上半期：平成19年4月1日から平成19年9月30日まで）

（単位：百万円）

科　目	第81期上半期	第82期上半期
売上高	**46,493**	**48,812**
売上原価	26,857	27,699
売上総利益	**19,636**	**21,112**
販売費及び一般管理費	17,762	19,836
営業利益	**1,873**	**1,276**
受取利息	147	106
受取配当金	23	24
その他の営業外収益	203	149
営業外収益	**374**	**279**
支払利息	663	433
為替差損	296	11
棚卸資産評価損	497	731
その他の営業外費用	483	697
営業外費用	**1,941**	**1,872**
経常利益	**306**	**△ 316**
特別利益	**－**	**－**
投資有価証券評価損	39	29
特別退職金	151	－
固定資産廃却損	47	－
特別損失	**238**	**29**
税金等調整前中間純利益	**68**	**△ 345**
法人税、住民税及び事業税	883	△ 154
法人税等調整額	△ 404	△ 17
中間純利益	**△ 410**	**△ 174**

（注）記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

中間連結損益計算書のポイント

■ 売上高

主力の計測器事業に加えて、産業機械事業も堅調に推移した結果、前年同期比5%増となりました。

■ 営業損益

情報通信事業及び産業機械事業は収益が改善したものの、計測器事業が新製品群の立ち上がり期だったこともあり、全体としては前年同期を下回りました。

■ 中間純利益

米国子会社での繰延税金資産の回収可能性の見直し等により、前年同期比で若干改善しました。

中間連結キャッシュ・フロー計算書

（第81期上半期：平成18年4月1日から平成18年9月30日まで
第82期上半期：平成19年4月1日から平成19年9月30日まで）

（単位：百万円）

科　目	第81期上半期	第82期上半期
1 営業活動によるキャッシュ・フロー	**1,324**	**2,147**
税金等調整前当期純損益	68	△ 345
減価償却費	1,754	1,841
のれん償却額	320	320
受取利息及び受取配当金	△ 171	△ 130
支払利息	663	433
その他の営業外損益・特別損益	△48	71
売上債権の減少額	789	730
棚卸資産の増減額	△ 2,245	209
仕入債務の増減額	1,099	△ 593
その他	80	511
小　　計	**2,310**	**3,047**
利息及び配当金の受取額	178	132
利息の支払額	△ 699	△ 505
法人税等の支払額	△ 776	△ 777
法人税等の還付額	312	250
2 投資活動によるキャッシュ・フロー	**1,781**	**△ 2,002**
有価証券の売却による収入	900	–
有形固定資産の取得による支出	△ 1,038	△ 1,296
投資有価証券の売却による収入	1,952	–
長期性預金の預入による支出	–	△ 633
その他	△ 32	△ 72
3 財務活動によるキャッシュ・フロー	**△ 10,520**	**4,516**
短期借入金純増減額	△ 1,534	1,408
長期借入れによる収入	7,000	668
長期借入金の返済による支出	△ 803	△ 7,108
社債の発行による収入	–	10,000
社債の償還による支出	△ 14,793	–
提出会社による配当金の支払額	△ 382	△ 446
その他	△ 6	△ 6
4 現金及び現金同等物に係る換算差額	**91**	**△ 195**
5 現金及び現金同等物の増減額	**△ 7,322**	**4,465**
6 現金及び現金同等物の期首残高	**30,870**	**19,946**
7 現金及び現金同等物の中間期末残高	**23,547**	**24,412**

（注）記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

中間連結キャッシュ・フロー計算書のポイント

■ 営業活動によるキャッシュ・フロー

棚卸資産の圧縮など運転資本の効率化に努めた結果、前年同期から約8億円改善させることができました。

■ 投資活動によるキャッシュ・フロー

有形固定資産の取得による支出が増加しました。なお、前期は、投資有価証券等の売却による収入（28億円）がありました。

■ 財務活動によるキャッシュ・フロー

平成20年1月の第3回無担保社債の償還（150億円）に備え、平成19年9月に第4回無担保社債（100億円）を発行しました。なお、平成19年4月にシンジケートローン70億円を返済しました。

中間連結株主資本等変動計算書

（第82期上半期：平成19年4月1日から平成19年9月30日まで）

（単位：百万円）

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	合計
平成19年3月31日　残高	14,049	22,999	27,116	△ 824	63,341
中間期間中の変動額					
剰余金の配当	–	–	△ 446	–	△ 446
中間純利益	–	–	△ 174	–	△ 174
自己株式の取得	–	–	–	△ 7	△ 7
自己株式の処分	–	–	△ 0	1	0
株主資本以外の変動額（純額）	–	–	–	–	–
合計	–	–	△ 620	△ 5	△ 626
平成19年9月30日　残高	14,049	22,999	26,495	△ 830	62,715

	評価・換算差額等				新株予約権	純資産合計
	その他有価証券評価差額金	繰延ヘッジ損益	為替換算調整勘定	合計		
平成19年3月31日　残高	705	△ 1	△ 2,441	△ 1,736	13	61,619
中間期間中の変動額						
剰余金の配当	–	–	–	–	–	△ 446
中間純利益	–	–	–	–	–	△ 174
自己株式の取得	–	–	–	–	–	△ 7
自己株式の処分	–	–	–	–	–	0
株主資本以外の変動額（純額）	△ 131	1	△ 468	△ 598	29	△ 568
合計	△ 131	1	△ 468	△ 598	29	△ 1,195
平成19年9月30日　残高	574	–	△ 2,910	△ 2,335	43	60,423

（注）記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

中間貸借対照表

（第81期　：平成19年3月31日現在
第82期上半期：平成19年9月30日現在）

（単位：百万円）

科　目	第81期	第82期上半期
資産の部		
流動資産	57,448	58,953
固定資産	78,806	77,777
有形固定資産	9,510	9,388
無形固定資産	545	447
投資その他の資産	68,750	67,940
資産合計	136,255	136,731
負債の部		
流動負債	43,210	35,017
固定負債	22,325	32,431
負債合計	65,535	67,448
純資産の部		
株主資本	70,018	68,678
資本金	14,049	14,049
資本剰余金	22,999	22,999
利益剰余金	33,792	32,459
自己株式	△ 824	△ 830
評価・換算差額等	687	559
新株予約権	13	43
純資産合計	70,719	69,282
負債・純資産合計	136,255	136,731

（注）記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

中間損益計算書

（第81期上半期：平成18年4月1日から平成18年9月30日まで
第82期上半期：平成19年4月1日から平成19年9月30日まで）

（単位：百万円）

科　目	第81期上半期	第82期上半期
売上高	22,183	23,434
売上原価	15,898	17,315
売上総利益	6,285	6,118
販売費及び一般管理費	5,716	6,301
営業利益	568	△ 182
受取利息	132	123
受取配当金	285	223
その他の営業外収益	154	125
営業外収益	572	472
支払利息	273	223
為替差損	4	72
棚卸資産評価損	496	608
その他の営業外費用	139	399
営業外費用	914	1,304
経常利益	226	△ 1,014
特別利益	–	–
投資有価証券評価損	39	29
特別損失	39	29
税引前中間純利益	186	△ 1,043
法人税、住民税及び事業税	△ 172	△ 142
法人税等調整額	106	△ 13
中間純利益	252	△ 886

（注）記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

中間株主資本等変動計算書

（第82期上半期：平成19年4月1日から平成19年9月30日まで）

（単位：百万円）

	株主資本					評価・換算差額等	新株予約権	純資産合計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	合計			
平成19年3月31日　残高	14,049	22,999	33,792	△ 824	70,018	687	13	70,719
中間期間中の変動額								
剰余金の配当	–	–	△ 446	–	△ 446	–	–	△ 446
中間純利益	–	–	△ 886	–	△ 886	–	–	△ 886
自己株式の取得	–	–	–	△ 7	△ 7	–	–	△ 7
自己株式の処分	–	–	△ 0	1	0	–	–	0
株主資本以外の変動額（純額）	–	–	–	–	–	△ 128	29	△ 98
合計	–	–	△ 1,333	△ 5	△ 1,339	△ 128	29	△ 1,437
平成19年9月30日　残高	14,049	22,999	32,459	△ 830	68,678	559	43	69,282

（注）記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

会社の概要（平成19年9月30日現在）

商号	アンリツ株式会社　ANRITSU CORPORATION
本社	神奈川県厚木市恩名五丁目1番1号（〒243－8555） 電話（046）223-1111（代表）
創立	昭和6年3月17日
資本金	140億円
従業員数	4,050名（連結）　1,116名（単独）

主要事業所

名称	所在地
本社	神奈川県厚木市
関東支社	埼玉県さいたま市中央区
中部支社	愛知県名古屋市中村区
関西支社	大阪府大阪市淀川区
北海道支店	北海道札幌市中央区
東北支店	宮城県仙台市青葉区
新潟支店	新潟県新潟市
東関東支店	茨城県土浦市
東大阪支店	大阪府東大阪市
中国支店	広島県広島市東区
四国支店	香川県高松市
九州支店	福岡県福岡市博多区

主要子会社

会社名	主要な事業内容
アンリツ産機システム（株）	産業機械の製造、販売
アンリツネットワークス（株）	情報通信機器の製造、販売
東北アンリツ（株）	計測器、情報通信機器の製造
アンリツ計測器カストマサービス（株）	計測器の校正、修理、保守
アンリツデバイス（株）	光デバイスの製造
アンリツエンジニアリング（株）	ソフトウェアの開発
アンリツ興産（株）	施設管理、厚生サービス、カタログ等制作
アンリツ不動産（株）	不動産の賃貸
アンリツテクマック（株）	加工品、ユニット組立品の製造、販売
（株）アンリツプロアソシエ	シェアードサービスセンター業務
Anritsu U.S. Holding, Inc.〔米国〕	海外子会社の持株会社
Anritsu Company〔米国〕	計測器等の製造、販売
Anritsu EMEA Limited〔英国〕	計測器等の販売
Anritsu Company Ltd.〔香港〕	計測器等の販売
Anritsu A/S 〔デンマーク〕	計測器等の製造、販売、保守

役員

代表取締役社長	戸田博道
代表取締役	橋本裕一
取締役	マーク・エバンス
取締役	小野浩平
取締役	山口重久
取締役（社外取締役）	清田瞭
常勤監査役	庄司耕治
常勤監査役	斉藤五郎
監査役（社外監査役）	龍岡資晃
監査役（社外監査役）	的井保夫

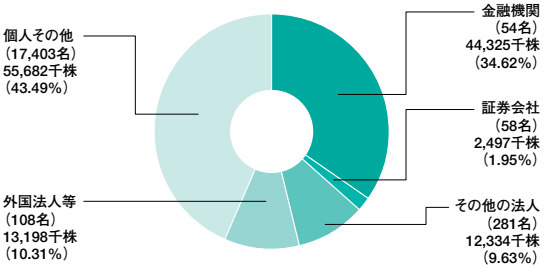
執行役員

社長	※戸田博道
専務執行役員	※橋本裕一
専務執行役員	※マーク・エバンス
常務執行役員	※小野浩平
常務執行役員	小藤哲司
常務執行役員	※山口重久
執行役員	島村章一
執行役員	フランク・ティアナン
執行役員	小熊康之
執行役員	田中健二
執行役員	高橋光一郎
執行役員	柏木俊洋
執行役員	鷲見孝則

（注）※印を付した執行役員は、取締役を兼務しております。

株式の状況（平成19年9月30日現在）

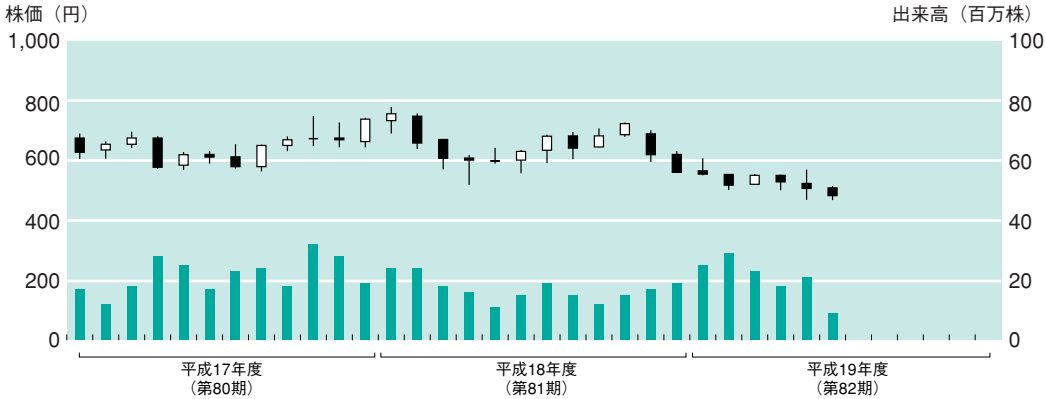
- 発行可能株式総数 ／ 400,000,000株
- 発行済株式総数 ／ 128,037,848株
- 株主数 ／ 17,904名
- 株式の所有者別状況



大株主

株主名	持株数（千株）	出資比率（%）
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社（住友信託銀行再信託分・日本電気株式会社退職給付信託口）	19,200	15.00
日本電気株式会社	8,312	6.49
日本マスタートラスト信託銀行株式会社（信託口）	3,794	2.96
モルガン・スタンレー・アンド・カンパニー・インターナショナルPLC	3,055	2.39
三井住友海上火災保険株式会社	2,964	2.32
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社（信託口）	2,523	1.97
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社・住友信託退給口	2,500	1.95
住友生命保険相互会社	2,314	1.81
資産管理サービス信託銀行株式会社（証券投資信託口）	1,829	1.43
バンクオブニューヨークGCMクライアントアカウントJPRD ISG（FE－AC）	1,665	1.30

株価・出来高の推移



社債の状況

銘柄	発行日	社債残高	転換価額又は新株引受権行使価額	転換率又は新株引受権行使率
平成22年9月21日満期 2010年満期円貨建転換社債型新株予約権付社債	平成15年9月19日	15,000 百万円	1,070 円	― %
平成20年1月29日満期 第3回無担保社債	平成14年1月29日	15,000	―	―
平成24年9月26日満期 第4回無担保社債	平成19年9月26日	10,000	―	―

■事業年度

毎年4月1日から翌年3月31日まで

■定時株主総会

毎年6月開催

■基準日

定時株主総会　　毎年3月31日
期末配当　　毎年3月31日
中間配当　　毎年9月30日
そのほか必要があるときはあらかじめ公告して定めた日

■株主名簿管理人

大阪市中央区北浜四丁目5番33号
住友信託銀行株式会社

■同事務取扱場所

東京都千代田区丸の内一丁目4番4号
住友信託銀行株式会社　証券代行部
（郵便物送付先）
東京都府中市日鋼町1番10（〒183-8701）
住友信託銀行株式会社　証券代行部
（電話照会先）
住所変更等用紙のご請求　　0120-175-417
その他のご照会　　0120-176-417
（URL）
http://www.sumitomotrust.co.jp/STA/retail/service/daiko/index.html

■同取次所

住友信託銀行株式会社本店及び全国各支店

■公告の方法

当社ホームページに掲載します。
（URL）
http://www.anritsu.co.jp/J/koukoku/

■上場取引所　東京証券取引所 市場第一部

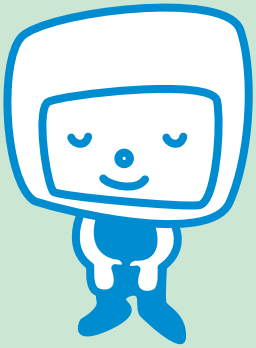
■証券コード　6754

■単元未満株式の買増制度

当社は、1単元（1,000株）に不足する単元未満株式を買い増し、単元株式としていただける単元未満株式の買増制度を採用しております。お手続きの詳細につきましては、上記株主名簿管理人にお問い合わせください。なお、証券保管振替制度をご利用の株主様は、お取引の証券会社にお問い合わせください。

株主さま向けアンケート

株主の皆さまの声をお聞かせください



当社では、株主の皆さまの声をお聞かせいただくため、アンケートを実施します。お手数ではございますが、アンケートへのご協力をお願いいたします。

下記URLにアクセスいただき、アクセスコード入力後に表示されるアンケートサイトにてご回答ください。所要時間は5分程度です。

http://www.e-kabunushi.com

アクセスコード 6754

いいかぶ 検索

Yahoo!、MSN、exciteのサイト内にある検索窓に、いいかぶと4文字入れて検索してください。

空メールによりURL自動返信

kabu@wjm.jpへ空メールを送信してください。（タイトル、本文は無記入）
アンケート回答用のURLが直ちに自動返信されます。

携帯電話からもアクセスできます

QRコード読み取り機能のついた携帯電話をお使いの方は、右のQRコードからもアクセスできます。

アンケート実施期間は、本書がお手元に到着してから約2ヶ月間です。

ご回答いただいた方の中から抽選で薄謝（図書カード500円）を進呈させていただきます

e-株主リサーチ

※本アンケートは、株式会社エーツーメディアの提供する「e-株主リサーチ」サービスにより実施いたします。（株式会社エーツーメディアについての詳細 http://www.a2media.co.jp）
※ご回答内容は統計資料としてのみ使用させていただき、事前の承諾なしにこれ以外の目的に使用することはありません。

●アンケートのお問い合わせ「e-株主リサーチ事務局」 TEL:03-5777-3900（平日 10:00～17:30） MAIL:info@e-kabunushi.com

Anritsu

http://www.anritsu.co.jp

ミックス品
FSC認証林及び管理された森林からの製品グループです
www.fsc.org Cert no. SGS-COC-2499
© 1996 Forest Stewardship Council
FSC

PRINTED WITH SOY INK